

復興応援団だより

2016. 8 / N051
発行元：
一般社団法人
復興応援団
代表：佐野哲史
広報チーム
0226-25-9897

小野花匠園のお手伝い

7月23日、24日の2日間、南三陸町で、普段お世話になっている菊農家の小野政道さんのところへ農作業のお手伝いをしてきました。小野さんは震災後に株式会社小野花匠園を設立され、繁忙期には30人近くの地元の方々を雇用されています。

今回は菊が収穫された後のビニールハウスの中で、次の栽培に向けて花の収穫、草取りなど畝をきれいにしました。そのハウスの中では、菊が1年で3度育てられ、産直やコンビニの店頭など宮城県内の様々な場所に並ぶそうです。畝をきれいにした後は、出荷に向けて収穫された花の整理を行ないました。



の心を豊かにしてくれました。
(東北大・加藤諒一)
←お手伝いをするメンバー

南三陸探検

7月10日(日)に南三陸探検を行いました。復興応援団の学生スタッフが月に1度、南三陸町を訪れて、まちの魅力を再発見しています。

今回は海沿いから少し離れ、里山の風景がのどかな入谷地区を巡ってきました。見学に伺ったのは、廃校になった小学校を

再利用した宿泊施設「さんさん館」の一角にオープンした、誰でも利用できる読書スペース「かもしか文庫」。南三陸杉を使った真新しい本棚には、子どものころに読んだ絵本から、文豪の名作までたくさんの本が並んでいます。木の香りに包まれながら、ゆったりできる雰囲気思わず時間を忘れて読んでしまいました。

今後は、飲食物の提供も検討しているとのこと、ますます魅力的な場所になっ



ていくのではないかと思
います。
(東北大・岩館佑実)
←かもしか文庫の本棚

復興応援団とは？

私たちは、「地元のけするなど、住民のみなき方が主役の復興」を目標として、主に南三陸町と多賀城市で活動しています。南三陸町では、地元の復興の担い手の元へ全国からボランティアを派遣。復興のお手伝いを通じて南三陸の魅力に触れてもらい、中長期的に復興を支える「ファン」になってもらう取り組みをしています。多賀城市では、2012年4月より「復興応援団だより」を仮設住宅全戸にお届



←南三陸町で被災地の状況を学ぶ参加者



→多賀城市で復興応援団だよりを配布するスタッフ

塩釜みなと祭

東北の夏祭りの先陣を切って開催される「塩釜みなと祭」。7月18日(月)に本祭が開催され、海上神輿渡御ならびに陸上パレードが行なわれました。我々学生スタッフも夏の訪れを感じようとお祭りを観に行ってきました。

神輿渡御では、志波彦神社・鹽竈神社の2基の神輿が御座船に乗り約100隻もの供奉船を従えて松島湾を巡行しました。塩釜港に戻ってきた大船団を率いる御座船「龍鳳丸」「鳳凰丸」の壮麗さに、多くの方が魅了されていました。また、今年は東京デイズニールが15周年を記念してスペシャルパレードを開催し、ミッキーマウスなど人気キャラクターが登場しました。

(東北大・加藤諒一)
←龍鳳丸の様子